

WIN^{CONCORD} コンコード NEWSLETTER

皆で前進を

平成11年度和歌山大学経済学部卒業生

ズルフィカル ザイヌッディン

2000年に入って3ヶ月になります。しかし21世紀を迎えるということは、どのような事を意味するのでしょうか。単にカレンダーを新しいものと取りかえるだけなのでしょうか。それとも何か新しい事に取り組むという意味があるのでしょうか。私は2000年という年は、私達全員にとって何か重大な意味のある年だと思います。新しい世紀へと動き出している中で、私達に何ができるか一緒に考えてみませんか。

私はマレーシアからやって来ました。過去1000年のマレーシアには、様々なことが起こりました。例えば1511年にポルトガルがマラッカを占領して以来、我国は、400年以上もの間、オランダ、イギリス、そして日本による統治時代を経験することになったのです。そして、ようやく独立国になったのは1957年のことでした。その後43年の間、マレーシアの国民は自国をより良い国にするために、必死で働いてきました。しかしながら、マレーシアは独自でこの成果を得たのではなく、アメリカやヨーロッパ、そしてもちろん日本からの援助があつてこそその成果なのです。その結果、この数十年の間、いかに互いに協力し合うかを学んできました。例えば、現在マレーシアには1000社を越す日本企業が進出しています。日本がマレーシアに対して技術提供を行い、マレーシアは天然資源を提供するのです。

過去50年間を振り返ってみると驚くべき事実があります。私の祖父は日本人が嫌いだと私に話したことがありました。とても悲しく感じましたが、祖父は日本

軍が祖父の村に侵略して来て家族や友人を殺傷した戦争体験を未だに忘れていないのです。しかし今、私は多くの友人に囲まれ、そして何よりもうれしかったのは、今春の大学卒業後、マレーシアの日本企業に就職先が決まった時でした。私達は共に協力し合い、そしてより互いを理解し、成功するために前進していくことが必要なのです。

新世紀に突入するということは興奮と好奇心、そして悲しみを受け入れるためのステップだと思います。どうしてこの様なことを言うかと言いますと、今日私が様々な出来事についてお話ししたように、私達は発展と躍進を遂げてきた一方で、世界の国々の中では「戦争から得るものは皆無だ」と分かっているにもかかわらず戦争を続け、無意味な殺傷を続けている国がまだあるからなのです。また21世紀を迎えた50年後には、世界で満足な食糧にありつけない人々の数が倍増する事実は悲しいばかりです。そこで私達は友人達が飢餓に苦しみ、殺傷しあうのを見過ごして、自分達の生活だけを考えていて良いのでしょうか。新しい世紀を迎え、より輝かしくより良い未来へ向かって協力し合い、共に21世紀に向け進んでゆかねばなりません。皆一緒に前進できるように心から願ってやみません。

いつかまた日本に戻れるようにむこうで頑張ります。これからもよろしくお願いします。ありがとうございました。

さよなら ニッポン

ヴィマラ・クンチャンブー (マレーシア)

今、時間を止めることができたかと願っています。日本を離れなければならないということに心の準備ができないのです。時が去って行くのは当たり前のことです。私は日本でいろいろな経験をしました。そしてその多くは、人との交わりです。

エレノア・ルーズベルトの言葉が頭に浮かびます。「多くの人々がやって来て、そして去って行く、しかし本当の友だけが心の中に足跡を残してくれる。」私は、日本でたくさんの足跡を持つことができました。孤独を癒してくれたり、カルチャーショックをやわらげてくれたり、そして、多くの方々は、友情の大切さを教えてくれました。すてきな人々すべてに、心からありがとう。いつまでも忘れないでしょう。

私が家へ帰ったら、日本についての質問をいっぱい受けることでしょう。その時、日本について否定的な考えを持っている人々にそうではないと言えるチャンスだと思います。日本に来る前は私も同じふうでした。

“信じられない食べ物・言葉の壁・人の群・外国人に対する偏見、そして侍のイメージ (映画の『将軍』の影響でしょうか)”

旅行するのに日本というと、クレイジーだと言われた。今私は、日本に関するまちがった考えを改められることができて本当によかったと思っています。

日本の食べ物は芸術的な作品なのだとわかりました。紅葉のすばらしさに感動し、きれいな水に遊んでいるコイ、日本の四季を味わうことができました。臆病で、自分から決して話しかけない子供たちにも慣れました。雪をかぶった滝の近くの露天風呂、シロップをいっぱいかけたかき氷を食べながらの花火見物、決して忘れることができないでしょう。とりわけ、日本の人々が外国語や外国旅行、外国の食べ物、外国人の生き方、文化などを知るためにたいへん熱心なことに驚きました。



でも、日本の良い面の中で、私が今まで経験した事がないこともありました。日本社会には「出るクイは、打たれる」ということわざ通り生活や考え方が画一的です。人々は、他の人もそうなのだからという理由で、行動したり発言したりします。私は、本当は誰が礼儀を重んじる人なのか、正直な人なのかを見極めるのに、いつも苦労しました。

そして、日本人は、健康について高い関心を持っています。健康こそ人生の基礎なのだと。テレビのどのコマーシャルも「健康に良い」「元気になる」という言葉を必ずつけます。でも一方喫煙の習慣に関しては、無頓着です。禁煙・喫煙場所の区切りはあいまいだし、たとえ、日本流の禁煙場所が設置されていても問題の解決にはならないと思います。もっともっと大事なことなのだとわかってほしいと思います。

日本留学は、私に大切なことを教え成長させてくれました。そして何よりも楽しく有意義でした。

最後に WIN のメンバーの援助、本当にありがとうございました。WIN CONCORD の人達の努力は私達外国人留学生にとって、和歌山での生活を忘れられないものにしてくれました。日本からのおみやげとして、楽しかった思い出をいっぱい持って家へ帰ります。

翻訳: K.K

日本の教育に関して

李 俊 衡 (韓 国)

私は教員研修生として日本に来て、もう1年半程になりました。留学生と言えど誰でも一回くらいは、日本の学校を訪問する機会を偶然得ると思いますが、職業が職業なので(?)他の人よりするとい目で(実際も私の目は細いですが)見るようになります。

日本でいくつかの学校を探訪したことがありますが、第一印象は「先進国なのにあんまり変わらないんだ」でした。施設の面においては韓国と比べて見ると、日本の方が体育館やプールなどがよく揃っていて、うらやましいなと思いました。しかし、コンピュータや大型テレビなど教育機材の面は、むしろ韓国の方がもっと進んでいて普及しているようでした。

とにかく、教育ということは、そのような表面的な環境より、実際どのように運用して行くのが大切なのです。例えば1学級当たりの学生数を比べると日本の方が少なく、教師としては子供一人一人に気を配ることができるわけです。

今、新聞や放送では日本の教育の問題点を訴える声が高いことが事実であり、学級崩壊や不登校などが自然な日常用語になっています。そのせいか、たまに不満そうな人から「日本の教育っていったい何を研究す

る?」と聞かれます。ちょっと話が変わりますが、私が日本の教育学を学びながら一番驚いたのは、現在、幼稚園から始まる入試の厳しさとか豊富な教育関連書籍とかではなくて、日本の義務教育のことでした。

アジア諸国が甘い夢を見ながら、自分たちなりの身分秩序や封建主義を守っていた1900年度前後に、日本はいち早く全国民の小学校義務教育を実施したのです。勿論、それが軍国主義に流れ込んでしまいましたが…。教育、それこそが今の日本を導いた原動力だと思えます。長い間、質、量共に発展して来た教育の土台の上に、優秀な人材が日本という国をつくって来たのです。戦後、アメリカから教育課程、内容、方法などを押しつけられたが、日本は自ら独特な文化的背景を持ち、(例えば家庭のしつけ、集団意思の尊重などなど)それをうまく乗り越えて来ました。

私の先生はアメリカの教育に詳しい方ですが、いつもアメリカと日本は文化的背景が違うから、一方的にアメリカの教育方法をつまみ食い式に受け入れることはだめだとおっしゃっています。その通りだと思います。日本留学のいろいろな経験を生かして、帰国後は日本の素顔と日本から学んだことを伝えたいと思っています。無事に和歌山の生活を過すのに、いつも見えないところで助けてくださったWIN CONCORDの皆さんに心から感謝しています。ありがとうございました。



私が学んだこと

ロドリゴ ディアズ (チリ)

日本文化について、私の個人的な印象をお話したいと思います。私は、日本に来るまでこの国でのお付き合いはうまくいかないだろうと思っていました。ですから(日本での)私の目的は(それまで抱いていた日本への)印象について明らかにすることでした。私は、教師をしているものですから、物の見方に対して、仕事から強い影響を受けることがあります。

日本人の時間は、正確です。

子供の頃から(日常)生活の中で、時間と共に生きることを学びます。例えば日本の人が、私達との待ち合わせの時間を決めたとしましょう。それは5分前でも5分遅れでもなく、ちょうどその時間のことを指しているのです。ぐずぐずして時間を無駄にすることがないので、私は、このことをいいことだと思います。まったく、私の国でもこうあって欲しいものですね。私の国(チリ)の社会では、時間に“遅れること”が当たり前のこのようになっているのです。チリでは、私は授業を始めるにあたって、こんなことを話します。“無礼な人は、”チリ時間“で出席するのでしようね。私達は日本人のように(時間に正確に)ならなければいけませんよ。さあ…それでは授業を始めましょう!”

チリの人と時間の約束をする時は、あなたが5分遅刻する許可を得たという意味にとってもいいでしょう。この言い方には、ちょっと問題がありますが、国民性の問題だと考えてください。一方で、後悔する気持ちについて私は、日本人とは意見が違います。(待ち合わせなどで)最後に着いた人は、“ごめんなさい”というのが常識ですがこの時の日本人の気持ちはとても誠実です。日本人が“どうも すみません”という時、彼らの後悔の気持ちはとても誠実なのです。ときどき、私は彼らの心からの恥じらいを感じることがありますが、それは、彼ら自身にとって、とても重要な習慣に欠けていたからなのです。チリ人の場合、時間に遅れることは、もちろん悪いことだと分かっていますし、再び繰り返さないよう努力もします。しかし、その気持ちは、日本人ほど深刻なものではないのです。

他の点は、日本での日常生活は、完璧さに対するたくさんのストレスやひどいプレッシャーを伴って加速しています。すべての制度や組織や会社において、会員の行動を規制するたくさんの内部ルールがありますが“完璧”の考え方は、すべての日本のグループをまるで“ゴースト(背後霊)”のように巡視しています。現在、この“背後霊”が日本の今ある地位を手に入れる助けとなったことは、世界が認めるところです。エクアドルの友人が“日本は五つ星の国だよ”といったように事実、彼(の意見)は正しいのですが、私もこのことは(日本にとって)よいことで、日本がこの生活リズムを保ちつづけることができることを望んでいます。それにもかかわらず、この生活リズムは、とても厳しくとても大きな必要条件を伴います。ですから、パチンコやカラオケなどの多くの娯楽施設があるわけです。

現在、幼い子供達が教育制度(義務教育)に入る時、何が起っているでしょう?子供達は、漢字やひらがなカタカナの書き方を学びますね。音読みと訓読みの読み方も学びます。本当にとっても面白いものです。私は、この学習を知っていますし、自分が漢字の読み書きを学んだ時、この学習を楽しみました。

想像する事は難しいのですが、この種の書き方は日本文化にとっても重要です。私が言いたいことは?私が思うに、もし漢字がなかったら、日本国家は存在していないでしょう。これは正しいです。私の断言は明確で、自分自身の評価を間違っていないと思います。国家は、その国の文化・遊び・儀式・感情・環境との関係によって、他の国家と区別するものですが、一番重要な要素は全ての市民が生涯持っている、道徳の構造です。さて もし全ての人が、子供時代に良識の真価を考えていたならば、それは成人後の生活において個性や社会的な現実の発達の保証となったでしょう。

日本人にとっては、日本語は自分たちの言語なわけですが。日本人は、日本語を学ばなければいけません。社会は長年漢字を受け入れてきたのですから、小学1年生(6歳)から漢字を学び始め(おそらく)人生が終わるその時まで、続くでしょう。しかし、私が指摘したい点は 小学1

年生で漢字学習を始めた児童(について)です。漢字を学ぶために彼らは、たくさんの能力の訓練を取り入れます: 学習を確実にできること、修練に専念できること、作業を終える時間を重んじること等々です。(このように)漢字の学習と平行して、(子供達は)幼い頃から たくさんの(学習する)姿勢を学んでいるのです。私達は すべての学年において(この姿を)見ることができます。もし私達が、日本でよい学校(公立の学校です)に入学するための競争を加えたら、最終段階日本は優れた人を持つことでしょう。彼らはどのように生きて社会を守るか知っているでしょうし、精力的な働き方、彼らの仕事での責任の果たし方、他人との信頼関係の築き方等を知っているでしょう。それは、日本が信頼とまともな人間を持つことになるでしょう。私の意見では、これはすばらしい特徴です。本当に私は日本の社会に賞賛と尊敬を感じます。

この経験は、私に日本人の“チームワーク”の才能に気付かせました。日本はグループでの活動の仕方、つまり団結・尊敬と献身は重要な価値があるということを知っています。彼らがチームで働いているとき、彼らは能力を最高位に向けることができます。このスタイルには、障害もあります。私達がすばやく有効な仕事が必要な時、チームワークは最適とはいえず、実りも少ないからです。しかし、日本文化にとっての時間的価値は、西洋文化のそれとは同じではありません。私達は“ひとつの活動の時間を短縮して、もっと他の活動に時間を”と考えます。しかし、日本文化では、一番重要なことは必要な時間を全て使ってよく構成された活動なので、時間は強制したりしません。ですから、もし、活動が重要なら次の世代が仕上げることでしょう。西洋文化は異なった概念、個人の名誉を表します。私達が始めたことを私達が仕上げるように努めるのです。私は、長野でこれを確信しました。長野県は、1996年冬期オリンピックの開催地ですが、80年代末には、彼らは、すでに全ての建物や施設を完成していました。これは、日本人の計画性と献身をよく表しています。最後に 私を助けてくれた全ての人に感謝の意を表します。本当に どうもありがとう 神のご加護を

P.D: この記事を書くために手伝ってくれたフィカルさん どうもありがとう。

ものより思い出

楊 彩 虹 (中 国)

「日本では、楽しい事、大変な事、様々な経験をすると思いますが、どれも後から貴重な思い出になるので、悔いのないよう、しっかり吸収してきて下さい。」これは日本に来る前に、ある仲のいい日本人留学生が書いてくれたメッセージです。

去年の風薫る5月に、私は中国の山東師範大学から、交換留学生として、姉妹校の和歌山大学にきました。専攻は日本語教育、夢は中国の大学で、日本語の先生になることです。「山は青き、水は清き」和歌山に来てから、親切な人ばかりに出会いました。

いろいろな生活用品を貸して下さいまして、あげてもあげきれないほどのことでお世話になって、家族みたいな暖かさを感じさせていただいた WIN コンコードの皆様、いくつかの小学校との交流をさせて下さいまして、私たちの留学環境をよりよくなるために一生懸命働いていただいた留学生係の皆様、日本の文化や社会のことなどいろいろ教えてくれて、日本語を上達させて、魅力ある文学に触れさせていただいた先生方、そして、一緒に勉強したり、遊んだりして、楽しい日々を送っている日本人と外国人と中国人の友達、また来た日に、スーパーはどこにあるのか分からなくて、道を尋ねると車で連れてくれた見知らぬ町の人...

ごく短い留学生生活をこんなに楽しいものにしてくれて、ありがとうございました。日本のここがすばらしいと思うのは、日本人の思いやりなのです。歩行者道にあるでこぼこした目の不自由な人の道、駐車場にある車椅子の置場、トイレにある身体の不自由な人用の個室。こういう思いやりはどうやってできたのかと考えたら、小学校に答えがあります。先生に叱られるのは勉強ができない子ではなく、クラスメートのミスに笑った子なのです。

日本文化の中で、一番好きで、言葉で表せないほど魅力があるのは日本庭園だと思います。規模が大きいものには、私が行ってきた足立美術館の名園があります。

枯山水庭、白砂青松庭、苔庭、池庭……と歩を進めるたびに眼前に広がる閑雅な風情は、館内の日本画と相まって、訪れる人の心を静かにいやします。小さいのは、普通の家の庭があります。「春色満園閑不住、一枝紅杏出牆来」という中国の古代の詩人が詠んだ趣が、日本の庭で見つかりました。

日本で留学してきた10ヶ月間の中に、一番誇りに思うのは、夏休み中に、友達と青春18切符で、東京に行ってきたことです。何回も乗り換えて、まる1日かかって、雨が降っている夜の東京についた時の気持ちはなんと複雑だったことでしょう。それに対して、一番恥だと思うのは、日本人や他の国の友達に中国のことを聞かれて私が知らないことがたくさんあることです。「中国人のくせに…」と思って、国に帰ったら、もっともっと中国のことを勉強しようと決心しました。

留学生活はいくら楽しくても、つらいことがないわけではありません。一番つらいのは、アルバイトをしている時、お客さんに怒られることと、私は日本語が不十分なので、一緒に働いている人に迷惑をかけることなのです。つらいことであるとともに、励みにもなります。もっと頑張らなくちゃと思って、つらい思いの後に元気が出てきます。私は今日本語のあいさつ言葉を卒論のテーマにして、大学生のあいさつを調べています。その中に、友達と話をし、別れる時のあいさつとして「頑張ってください」というのは一部の大学生に用いられているのです。これは私が大好きな言葉でもあります。知っている人や見知らぬ人に「頑張ってください」と励まされるたびに、心強くなります。手を振って日本に「さよなら」と言う日がいよいよ近づいてきて、振り返ってみると「悔いがない」とは言えないが、貴重な思い出はたしかにたくさんできました。「ものより思い出」日本での思い出は私の宝物としてこれからも大切にしていきたい。



初めてのスキー

シーブリー ニティワット (タイ)

会社の見学とスキーのため、名古屋の方へ行って来ました。この旅行はたくさんの外国の友達と一緒にでした。バスの一番前の席に座れて、その上中国の女性が隣りに座ってくれて幸せだった。一番前だったので景色や日本の町がよく見えました。他の友達は、旅行の準備で忙しかつたので疲れて眠っていました。しかし、おにぎりやコーヒが配られた時だけ、またにぎやかになりましたが、少しの間だけでした。それから3時間位バスに乗って、やっと名古屋市にある産業技術記念会館に着きました。そこで昼食を食べて説明を聞いて、会館に入りました。布を作る大きい機械がたくさんあって、案内の人が動かして見せてくれました。

次にトヨタ博物館へ行きました。いろいろな車をたくさん展示していました。博物館を出て直接グリーンホテルへ行きました。グリーンホテルは、スキー場の近くにある湯の山温泉にあります。私達は、まず温泉に入りました。夜は夕食をたっぷり食べて、その後夜遅くまでカラオケを楽しみました。

私は次の朝早く温泉に入って、朝食を食べてからホテルを出ました。私達は初めてスキーをして、楽しいスポーツだと思いました。その場所では、スキーの先生がいました。その先生だけではなくて、WINのメンバーも教えてくれました。スキーをやっている間に雪が降りました。スキーの板が長くて、なかなかうまく滑れません。みんなは、ぶつかってたおれました。痛かったけど、またがんばって滑りました。昼食はラーメンを食べました。みんなはおいしかったと言いましたが、本当においしかったか、お腹がすいていたから分かりませんでした。食べた後またスキーを続けました。靴がちょっと小さいから足が痛くなりました。でも、小林さんと後藤さんは私に気をつけてくれて手当てをしてくれました。(注射をしないのがよかったなあと思いました。)そして、もう一度スキーを一生懸命しました。それから、もっと高い所に登

って、スキーをしました。始めの時から比べると大分上手になったと思いました。みんなはモデルのようにたくさん写真を取りました。帰りのバスの中で隣の中国人の人といろいろ話をしたり、カラオケを聞いたり、寝ました。疲れたが楽しかった。

たった一年間の和歌山での生活ですが、楽しかったです。私は3月にタイへ帰りますが、チャンスがあれば和歌山へ帰って来て、みんなとスキーをしたいです。

僕の就職活動

張 松 (中国)

卒業式がいよいよ近づいてきた。私は、卒業後第二の故郷である和歌山から離れていくことを考えるとちょっと悲しく感じる。幸いに私が今年の4月以降大阪で就職することになっており、暇なときに和歌山に“帰省”しようとするなら簡単にできるのである。その就職について内定を獲得した経過を紹介したいと思う。

私は去年の3月から就職活動を始め、最初は銀行系企業にエントリーシートを数十枚送った。返事は十数社であった。日本では、この数年多くの企業が生き残るためにリストラそして新卒採用削減がコストダウンの手段として“盛ん”となった。また、海外から撤退する企業も急に増えてきた。そのため就職状況は非常に厳しく、特に去年は日本人の学生（大卒）の内定率が戦後最悪のわずか74.5%であった。この“無職父迷”

（無色透明）状態に陥った日本で就職したい中国人留學生の私は就職氷河期の“寒さ”をしみじみ感じた。6月中旬まで銀行系の会社の面接を数回受けたが、いずれもだめで、内定をまだ一つも貰っていなかった。周りの人から「内定を貰った」という自慢話が耳に入るとときにもっと気が苛々していた。そのあと、私は「今のやり方は、だめだ!」と気づいて、「金融機関を中心とする就職活動の方向を変え、商社とメーカーを中心に、もっと積極的に就職活動を行おう」という“路

線”に転換した。

6月21日に、大阪のある商社追加募集の集団面接を受けた。応募者人数は私を含めて3人であり、その内の2人は名古屋大学のM2で私と同様に中国人留學生であった。面接後、私達は一緒にビルから出て「一緒にコーヒーを飲みながらお互いに就職情報を提供しよう」という話になり、喫茶店に向った。途中、2人のうちの1人が「大阪に外国人雇用サービスセンターあるかなあ?」と私に聞いた。「あるよ!、僕は一度このセンターに行ったことがある、名前も登録したよ!」と私が言った。「それじゃあ、張さん、悪いけど、コーヒーを飲むより先にそのセンターに連れていってこないか」と一人が私に頼んだ。「喜んで!」と返事した。

20数分後、私達はセンターに着いた。2人は名前を登録するため相談窓口に行った。2人を待っている間に私が就職に関する資料を読みはじめ、その時、ある相談員の机の上の電話が鳴って、相談員が受話器を取って大声で喋った。相談員が電話を切った途端、私は訪ねに行った。「私は中国人留學生の張ですが……、実は今の電話の内容を聞いてしまいました。電話を掛けてきた企業は中国人留學生一名が欲しいのですね? この企業の社名を教えていただけないでしょうか?」。相談員はいきなり質問を聞かれてちょっと驚いた顔をしたが、嫌な顔を見せず丁寧に企業名だけ（資料がまだ届いてないから）を教えてくれた。

夜、私の“革命の根拠地”であるナナツホームに戻ってすぐパソコンを立ちあげて入手した企業名をYahooに入力・探索した。「化粧品メーカー、蘇州で工場を建設中、来年5月から生産を始める予定……」などの詳しい資料を得て、早速e-mailを送った。翌日に企業から返信が届き、その中に「取りあえず、履歴書を送ってください」と書かれていた。当日には私がメールの通り履歴書を郵送した。二日後、私は自ら電話して、履歴書が届いているかどうかを確認し、更に「面接に来てください」と人事の人に言われた。そして、一次面接、筆記試験、二次面接、という順でうまくいって、7月下旬に内定を獲得した。

ベトナムの文字

ブイ ティ ロアン (ベトナム)

日本に来て「ベトナムでは、何語が使われていますか。フランス語ですか。中国語ですか」とよく聞かれた。たぶん、千年以上中国に支配されたり、フランスの植民地だったから、みんなにそう思われるでしょう。

中国の長い支配の中で、ベトナムには、文字がなくてベトナム語は表現できなかったため、漢字が使用された。独立してから、ベトナム語を大切にしてきた人達が、ベトナム語に似た発音の漢字を利用して、ベトナム語の意味を持つ当て字を創り出した。それは Chu nom である。Chu nom は、漢字より複雑な文字であるが、まさにベトナムの文化を主張する文字だった。

16 世紀半ばごろ、ヨーロッパ人宣教師が入って来た時、Chu nom は彼らにとっては、かなり難しかったから、ベトナム語をローマ字化した。時代に伴い、その表記語は、ベトナム語表記として使用されるようになった。だから、現在のベトナムの文字は周辺の国と違って、ローマ字系の文字である。しかし、英語の表記とはまったく同じというものではない。英語には 26 文字があれば、ベトナム語には 29 文字あって、次の通り aăâbcdđeêghiklmnoôôpqrtsuđxvy 英語になかったり、英語のような字がなかったりして、英語と違っている。それに、声調記号も付いているから、外国人には難しいかもしれない。だから、いくらベトナム語が上手といっても、ベトナム人のように発音できるとは限らない。中国語には、声調が 4 つあるが、ベトナム語には 6 つもある。

例えば、ma とすれば、次のように

ma (お化け) mả (助詞の一つの種類)
má (お母さん) mạ (苗)
ma (墓) mã (馬)

6 つの表記ができて、それぞれ発音も意味も違っている。一つの面白い例を考えてみよう。これは工場の名前に、このように書いてある。

Nhà máy cỏ khí Gia Lâm

もし、このように

Nhà máy cỏ khí già lăm

と書いたら「お前の家には、年取った猿がいる」という意味になってしまう。だから、声調記号をつけなかったり、ちゃんと発音が出来なかったりすれば、いろいろな意味に判断できて、通じない場合もある。

それにしても、ベトナム語は、文字も簡単だし、文法も易しいから、だれでも簡単に勉強できるでしょう。皆さんも、ぜひベトナム語に挑戦してみてください。



微笑みの国—タイ

コンルアン チュリラート (タイ)

皆さんこんにちは。私はタイの南の方から来たリーと申します。今日は自分の国のこと、言葉と宗教について話したいと思います。よろしくお願いします。

1. 言葉

2. 宗教

皆さんの中にはタイへ行ったことがある方がいますか。これから私と一緒にタイへ行きましょう。タイは東南アジアにあります。タイの隣国は Laos, Myanmar, Cambodia と Malaysia です。日本から飛行機で 6 時間くらいかかります。地図を見ればタイの国の形はどんな形を感じますか。斧のようでしょうか。昔からタイは金の斧と呼んでいます。豊かな国だからです。まずタイの言葉を見てみましょう。タイ人はどんな言葉を使っているでしょう。答えはタイ語です。600 年くらい前 Phorkhunramkhamhang という王様が初めてタイの文字を作りました。年月は経って少し変わって来たが、それがタイ語の根本でした。タイ語といっても日本と同じような地域によって言葉や発音などが違います。例えば私の所は南の方、人々は南の言葉で話しています。北の人達も北の言葉で話します。それでも一般的に皆はタイのバンコク言葉が分かっている

ます。でも話すのは皆ができるわけではありません。例えば私の母はバンコクの言葉が分かっていますが、話せません。これがお年寄りの状態ですが、若い者を見れば全然違います。

新しい時代の人達は学校へ行って、学校ではバンコクの言葉を使っているのに、若い者はバンコクの言葉が話せるようになりました。今は時々南の人と言っても自分の土地の言葉が話せない人がたくさんいます。いつの間にかその言葉がなくなるかもしれないとお年寄りの人達は心配しています。それは文化が変わって行くことです。ではタイ語はいくつありますか。

1. バンコクの言葉、すなわち標準語
2. 北の言葉
3. 東北の言葉
4. 南の言葉

の4つがあります。又、山に住んでいる人の言葉もあります。Moslemsの人達は自分語で話しています。タイ語は日本語と同じようなLevelがあります。

例えば

1. 王様のための言葉
2. お坊さんのための言葉
3. 普通の人のための言葉
4. 仲がいい友達のための言葉
5. 詩の言葉 などがあります。

「私」と同じ意味の言葉は18あります。タイ語の文

字は44字あり、母音は32あります。文字と母音を混ぜ合わせて、言葉を作ります。タイ語と日本語を比べたら、私にとってタイ語の方が易しいです。漢字やカタカナはないからです。日本人にとって多分タイ語が難しいと思います。発音をするのは難しいと言われていました。そこまでタイ語の興味がある人がいますか。

では、宗教のことに入りましょう。タイは日本と同じ仏教国と言っても、日本とタイの仏教は違うと思います。なぜなら仏教という宗教はいろいろな種類があるからです。タイの仏教はSri Lankaからの仏教です。昔からタイとSri Lankaは宗教的な深い関係がありました。私は宗教のことがよく分からないけれども子供の時は今より宗教のことがよく分かりました。なぜなら2つの理由があります。

1. 子供の時私はよく母と一緒に寺へ行きました。子供にとって寺へ行くのは遊ぶこと、または、美味しいものをたくさん食べることが出来ることです。
 2. タイの学校は宗教の授業があります。皆が勉強しなければならない科目です。
- だから私達は子供のころ仏教のことをよく知っていました。大人になってから勉強や仕事で忙しくて、あまり宗教のことを考えないことになりました。でもいつ



も心の中に私は仏教人を感じています。タイの宗教は仏教だけではなく、Islam 教やキリスト教もあります。でも 95% は仏教です。仏教はタイ人の考え方や習慣の根本となるものです。例えばタイ人は仏教の教えの中に「人間は良い事をするとうまい結果を受けることができる」と言う教えや、「人間は生まれ変わること」などを信じます。だからお坊さん、またはお寺を大切にします。特に男の人は二十歳になったら宗教のために、一度お坊さんになる習慣があります。よくするのは結婚する前です。息子がお坊さんになったら、両親が死んだら天国に行くことができるとうまっています。だから大体のタイ人の男達は一度お坊さんになります。私の兄も皆お坊さんになりました。昔は3ヶ月間お坊さんになったが、今は7日や15日など短い期間になりました。そのために会社の仕事を休むことができます。タイ人の生活を見れば、生まれてから死ぬまで仏教と関係があります。その上タイでは仏教の関係の祭りがたくさんあります。最後はタイ人の特徴と考え方を少し説明したいと思います。

1. **Jaiyen : Jaiyen** と言うのは冷静のことです。どんなことがあっても、冷静になることです。冷静にして、よく考えることです。「冷静にしたら、もうとうまい結果を受ける」タイのことわざがあります。もう一つ意味は怒らないことです。今もその考え方があります。
2. **Krengjai : Krengjai** と言うのは他の人の気持ちを自分の気持ちより考えなければならないということです。人と話すとき又は頼むとき、いつも **Krengjai** を感じることを注意しています。
3. **Gatanyou : Gatanyou** と言うのは忠孝と報恩をすることです。「助けてくれた人を忘れないこと、機会があったら、その人に忠孝をすること」と言う教えがあります。
4. **Yim** あるいは「微笑み」です。タイは「the land of smile」と呼んでいます。タイ人はどんな時、微笑みますか。答えはいつもです。嬉しい時、分からない時、滑稽なことを聞く時、悲しい時も微笑む人がいます。そのことを分かったら、タイ人のことがもっと分かると思います。

私の話は完全な話ではないと思います。分からないこと、又は知りたいことがあったらどうぞ質問して下さい。ありがとうございました。



虹の国—南アフリカ

クリス マッキントッシュ (南アフリカ)

“虹の国” というのは、南アフリカにつけられたニックネームのひとつで、その多様な人口と文化遺産をうまく言い表している。その人口は土着の国民だけでなく、世界各国からの民族から成っており、いろいろな人種・宗教・文化・言語と伝統の垣根となっている。以前は人種毎に分割するよう努力したが、今日では統一の方向に動き出しており、国民の大多数は“新しい南アフリカ”に属していることを誇りにしている。

しかし、大部分の人達は南アフリカ人として知られることを望んでいるが、様々な民族を表すのに使われる個々の言葉が現存し、それらは歴史によって決められたり 40 年以上にわたる人種隔離制度 (アパルトヘイト) によってゆがめられたものである。次の言葉は今もなお使われている。

- ・黒人— コーカサス人以外のすべての総称
- ・アフリカ人— 文化・言語・宗教がアフリカ大陸に属している人達
- ・インド人とアジア人— 主にその起源がインドと極東にある人達
- ・白人— 主にヨーロッパから来た人達
- ・混血— マレー人や混血の有色の人達

4,460 万人の総人口の中で、その比率はアフリカ人は 77% の 3,430 万人、白人は 12% の 540 万人、混血は 8.5% の 380 万人、東洋人は 2.5% の 120 万人を占めている。

南アフリカとして現在知られている地域には、元々狩猟民族のブッシュマン族が定住していたが、約 2000 年前にバンツ語を話す民族が南に移住し、彼等は家畜を飼っていたため、その生活様式が牧畜の社会へと移行して行った。コイコイ（後にホッテントットとして知られるが）は、西海岸を下って移住したが、彼等は 1652 年にケイプに入植地を開拓したジャン・ヴァン・リーベックに率いられたオランダの移民者達に遭遇した最初の土着の人達であった。

大陸の反対側では、それまで居住していたバンツ族は東南地方へ移住し、ニューナイ族は現在のクワズラナタルと東ケイプを占め、ソーサ族とツワナ族は中央地方に住み、一方ベンダ族、レンバ族、シャングンツソング族は北部地方に残っていた。

1860 年代に年季奉公の期間明けしたインド人の労働者達が帰り、東海岸の砂糖園で働くようになった。また 1800 年代の白人の人口は後に鉱山で一攫千金を夢見るようになる多数のイギリス人の開拓者が到着すると共にかなり増加し、数はそれまで多くないにしても、英語を話す人達が産業・商業を支配し始めた。これが始まりとなって白人、ケイプの混血の人達とインド人が今日の南アフリカ社会を支配する少数民族を形づくっているのである。

国民の多様性は、文化・言語・宗教の広範囲にわたって反映しており、現在南アフリカには 20 に及ぶ民族文化が存在し、その信仰も一神教から魔術にまで至っている。その中でもイスラム教、キリスト教、ユダヤ教が最も代表的なものとなっている。又、言語については、11 の言語が話されているが、ズールー語が最も広く話されており、総人口の 22.4% に及んでいる。

現在、南アフリカは過去の政治（特にアパルトヘイト）によってもたらされた多くの問題に直面しているけれども、私達は、希望を持って国の多様性を利用して力強い将来を築き上げることが出来ると確信をしている。

翻訳：原 稔

1999年度活動経過

4月 9日	新入生歓迎花見（和歌山城）
5月 15日	WINコンコード総会・交流会
8月 7日	紀州踊り ロータアクト様から招待
8/28～29日	サマーキャンプ 清水町（海瀬様宅）
10月 28日	島精機製作所㈱ 見学
11月 14日	大学祭 模擬店協力
12月 23日	忘年会（ボーリング、カラオケ）
1/1～3日	お正月 ホストファミリーのホームパーティ
2/25～26日	会社見学とスキー旅行 産業技術記念館、トヨタ博物館 御在所岳スキー場
3月 24日	卒業生を送る会
年 間	住宅紹介・入居・転居の支援 生活用品の貸与 ホストファミリープログラム 生活情報提供、相談



パプアニューギニア津波募金の報告

パプアニューギニアの留学生から今年2月に次のような報告がありました。

1998年7月17日のパプアニューギニア津波募金に多大のご支援を頂き心からお礼を申し上げます。

皆様方からの募金でプレハブ住宅二棟分の資材を購入し、保健センターと教育施設を建設することができました。アイタベ地方の4校の内3校が、津波のために完全に破壊されました。現在、まだ仮設教室で授業を行っています。

9つの学校が建設される予定ですが、今年中に二校は完成します。

皆様方からの暖かい援助は、いつまでも忘れられないものとなるでしょう。本当にありがとうございました。

新留学生紹介

大学院の部

・Khin Ma Soe (キン マ リー) ミャンマー
日本で勉強しながら、日本の文化・風習・伝統・教育も知りたいです。私は教師ですから、国へ帰ったら、日本で私のいろいろな経験を私の生徒に教えてあげたいです。日本の生活は楽しいです。旅行するのも好きです。

・Namhai Otgon Jargal (ナムハイ) モンゴル
専門は科学で日本へ来る前に学校で働いていました。日本はきれいな空気で、冬はそんなに寒くなかった。初めて海を見ました。趣味は旅行と音楽を聞くことです。この6ヶ月学生生活はとても楽しかったので、今も同じと思います。多くの人と友達になりたいし、いろいろな所へ旅行したいし、泳げるようになりたいと思っています。

・馬 依 娜 (マリナ) 中国
Hello! My name is Marina. I am from Inner Mongolia Autonomous Region, China. The city where I come from is Hohhot, the capital of Inner Mongolia. "Hohhot" means "green city" in Mongolian language. It takes about forty minutes from Beijing to Hohhot by air. If you want have a look at the beautiful vast, green grassland, please come to Inner Mongolia in August, because it is the best season on the grassland. I came to Japan about two years ago to study International Business in Kobe Gakuin Women's Junior College and graduated this March. Then with my great interest in English and American Literature, I decided to continue my English study at Wakayama University. And at the same time, I want to improve my Japanese as much as possible and learn many things about Japan. If possible, I will study French, too and make a lot of friends all over the world. Hoping for a wonderful life in Wakayama.

・Kris Mackintosh (クリスティ) 南アフリカ
去年の4月南アフリカから来ました。三重大で日本語を勉強しました。マーケティングを勉強しています。私の趣味は料理を作ったり、旅行をしたり、スポーツをすることです。南アフリカでは、いろいろのスポーツが出来ます。とても人気のあるスポーツは、ラグビー、クリケット、サッカーです。どうぞよろしくお願いします。

・Daniel Moldovan (ダニエル) ルーマニア
皆さんこんにちは。10月から和歌山大学に来ました。システム工学部の光メカトロニクスで研究しました。今年4月に大学院生になりました。試験はむずかしかったです。たいてい毎日大学に行きます。クラスがない時、図書館で雑誌を読んだり、研究室でインターネットを使ったりします。週末は友達と一緒にカラオケに行きます。カラオケはにぎやかで楽しかったです。日本で友達をたくさん作りたいと思っています。

・李 在 桓 (イ ゼ ファン) 韓国
和歌山大学システム工学研究科の修士課程に入学しましてモバイル通信について勉強したいと思っています。電気工学から通信工学の方へ変わったので、ちょっと難しいことが多いですが、とにかく今からがんばって勉強しようと思っています。和歌山へ来たばかりなので、まだいろいろすることがありますが、ボランティアの方に手伝って頂いて、部屋を探すなどだんだん解決しています。心から感謝しています。

・尹 守 實 (ユン スー ボ) 韓国
韓国の釜山 (Pusan) から来ました。大学院システム工学研究科で在学し、自然に恵まれている和歌山で過しています。来たばかりなので、まだよく分かりませんが、もし一言で和歌山を表現すれば「情が溢れる、豊かな自然に恵まれている」ということです。日本では語学研修のために東京、研究生の生活のために大阪にも住んだことがありますが、今一番気に入っているところは和歌山です。これから2年間の和歌山での生活は楽しみ一杯の日々になると思います。皆さん一緒にいい思い出を作ってみませんか。

学部生の部

・馬 戦 彊 (マ セン キョウ) 中国
中国の河南省出身です。大学院教育学研究科に所属しておりますが、院生ではなく、予科に当たる研究生です。趣味はカラオケ、旅行とパソコンで、とりわけカラオケに自信があります。勿論日本の歌を歌いますよ。じじくさいと思われるかも知れませんが、演歌が大好きです。カラオケに行く時、是非僕を誘って下さい。来年、院生になれるように頑張ります。

・張 傳 仕 (チョウ デン シ) 台湾
1998年4月に初めて日本へ来て2年間日本語学校に通って、やっと和歌山大学に合格しました。高校しか卒業していない私は12年間経って再び勉強することは本当に疲れました。でもとても嬉しいです。自分の夢を現実にするのをもう一歩進めました。台湾の都市も、田舎も、日本とほとんど似ているが、日本を手本にすることがかなり多いです。私は将来、日本に学んだことを持って、日本と中国、台湾の文化交流、国際協力などの活動に少しでも貢献したいと思います。

・Metta Darunee (ダルニー メッター) タイ
タイのチェンマイから来ました。タイのラチャペットチェンマイで3年間日本語を勉強しました。和歌山大学で勉強しています。兄弟は3人で、弟と姉です。私の趣味はコンピューターと手紙と音楽です。よろしく。

・Baldan Dorj Urangoo (ウランゴ) モンゴル
1992年モンゴルのオロホン外国語大学の日本語学部に入學し、1996年に卒業しました。専攻は日本語の教師と通訳です。今、和歌山大学で日本語以外に国際関係論・社会・文化・英語などを勉強しています。私の趣味は外国語・読書・音楽・テニスです。家族は3人で、母は定年になり、今家で家族の世話をしています。妹は外国語大学の3年生で、英語を勉強しています。

・謝 洪 文 (シャ コウ ブン) 中国
中国の曲阜(孔子の故郷)から来ました。去年の10月日本語、日本文化研修生として和歌山大学に入りました。中国で大学を卒業してから曲阜師範大学に日本

語の教師として勤めています。日本で自分の日本語能力を向上させて、中国に帰って、元の仕事を続けたいと思います。

・Bui Thi Loan (ブイ ティ ロアン) ヴェトナム
今ちょうど30才です。主人と1才の息子をベトナムに置いて、去年の10月日本に参りました。国では、貿易大学という大学で講師をしていました。専門は、日本の経済と日本語ですから、日本に来たいという夢をずっと持っていました。だから日本に来て、いろいろなことを勉強させて頂いて、よかったと思います。国へ帰って、日本語で日本経済の講義を出来るように今からがんばりたいと思います。趣味は、特にありませんが音楽が大好きです。

・王 穎 (オウ エイ) 中国
1年半ぐらい前から岡山に住んでいました。和歌山に来たばかりの時、一人で暮らして寂しくて、心配でした。でも花見の時、皆さんは初めて会ったのにとっても親切にしてくれました。だから私は寂しくなくて、和歌山で楽しい生活ができると思います。もちろん、それは皆さんのおかげで私がこれから、一生懸命頑張りますので、どうかよろしくお願いします。

・江 瑾 (コウ チン) 中国
中国の上海から参りました。和歌山は私にとって、そんなに全然知らない町じゃなくて、もう二年もこっちにいて、日本語を勉強していました。一番思わなかったのは、二年後また和太に入ること、さすがこの土地との縁が深いですね。こっちに来たばかりのころ、いろいろありました。言葉が通じない、習慣が合わない、寂しさなどつらかったですね。でも、幸いに和歌山の人はとっても親切だったのです。言葉がわからなくても、お互いの笑顔を見たら、なんとか通じました。今年から、和太で勉強することになりました。知識を求めることは一番嬉しいことだと思っていますので、この4年間も絶対みんなと一緒にいながら、すばらしい大学生生活を過せると思います。皆さん、ほんとうに、今の私も半分和歌山人になった気がします。これからもどうぞよろしくお願いします。





WINコンコード設立趣意書

現在社会は、政治・経済・文化のすべて分野で、地球を一つの単位として捉え、はじめて、その機能を十分に発揮しうる状況に至っていると思われます。そして、このかけがえのない地球の責任を担っているのは、たった一つの「種」に留まる「ヒト」即ち人間であり、その一人一人の人間が確立された個として、地球の貴重な構成要素としての役割を果たすことが求められています。民族の違いは、多様な文化の豊かさを示すにすぎず、国境は行政を効率的に行うための境界にしかすぎないのです。

WINは、人間の知恵を結集し、愛すべき郷土和歌山が、人間味溢れるネットワーク（HAN Human Active Network）で結ばれた、活性化された地域となるために活動するものです。そして世界各国から勉学の間を求めて留学して来る人々に、より良い環境を整えることは、ひとつの単位となった地球上に「HAN」を構築するうえにおいても重要なことであり、これにより、地球のひとつの地域である和歌山が、世界とダイレクトに結びつき、和歌山の優れた文化が世界に紹介され地球の多様で豊かな文化環境の醸成に寄与できるのではないかと考え、我々は、WINコンコードを設立するものです。

WINコンコード事務局

〒640-0103 和歌山市加太 2201-339

TEL073-459-3888 FAX073-459-3889

Homepage : <http://www.infonet.co.jp/Aso/win/indexj.htm>

E-mail : win@ns.infonet.co.jp